

各教育関係者様


 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 平成26年度 研究発表会のご案内(二次)

研究主題：「見通す・振り返る」学習活動を重視した 思考力・判断力・表現力等の育成

本校は、平成21年度から「思考力・判断力・表現力等を育成する指導と評価」を研究の中心的課題と位置付け、充実した言語活動が展開される授業について研究を深めてきております。この間、平成24年度からは、言語活動が有意味に機能していくための条件とも言える生徒の学習意欲に着目し、具体的な授業づくりについて提案して参りました。

この研究で明らかになったことは、学習意欲に支えられて展開する充実した言語活動の背景には、生徒自身の学びを見定めようとする姿があったということです。この成果を踏まえて、本年度は、生徒の主体性・自律性をより重視する方向で授業づくりを進めるべく、研究主題を『見通す・振り返る』学習活動を重視した思考力・判断力・表現力等の育成』と致しました。本校のこのような研究の方向性は、先に公表された「育成すべき資質・能力を踏まえた教育目標・内容と評価の在り方に関する検討会」の報告に符合するものであり、学習指導要領改訂に向けた“次なる一歩”を記す、意味ある発信を目指すものでもあります。

本年度は、「見通す・振り返る」学習活動を言語活動と一体的に充実させていく授業について、主体的・自律的に思考し、判断し、表現する生徒の姿をもとに提案いたします。

なお本校は、総務省「フューチャースクール推進事業(平成23年度～27年度)」及び文部科学省委託事業「ICTを活用した教育の推進に資する実証事業(平成26年度)」の指定を受けていることを踏まえて、今年度は、ICTの効果的な利活用の在り方についても併せて授業提案させていただきます。

以上を提案内容と致します本年度の公開研究会につきまして、多くの方々のご参加とご指導・ご助言を賜りたく、ここにご案内申し上げます。

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校長 加藤 圭司

1 主催 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校

2 日程 平成27年2月20日(金) 10:00～16:10 国語, 社会, 音楽, 美術, 保健体育, ICT
平成27年2月21日(土) 10:00～16:10 数学, 理科, 技術, 家庭, 英語

| | | | | | | |
|-------------------------|---------------------|----|----------------------------------|----------|---|-----------------------------|
| 9:00～ 受付 | 10:00～10:50 公開授業 | 移動 | 11:00～(11:30) 生徒による 感想・発表等 | 昼食 休憩 | 12:30～12:50 校長挨拶・ 基調提案 (両日同内容) | 12:50～16:10 研究協議・ 講演等 |
| 教科分科会ごとに行います。途中休憩をとります。 | | | | | | |

※ 20日(金)の「ICT」は15:00まで研究協議・講演を行います。終了後、他分科会の講演等にご参加ください。

※ 20日(金)の「ICT」以外にも、ICT環境を生かした授業を提案する教科があります。

※ 昼食は、ご持参いただくか、学校前の弘明寺商店街などをご利用ください。お弁当の販売もいたします。

3 助言及び講演の先生方

| | | | | | |
|----|----------------------------|----------|------------------------|----|------------------------|
| 国語 | 文部科学省教科調査官 富山 哲也 先生 | 音楽 | 文部科学省教科調査官 臼井 学 先生 | 技術 | 文部科学省教科調査官 上野 耕史 先生 |
| 社会 | 国立教育政策研究所総括研究官 二井 正浩 先生 | 美術 | 文部科学省教科調査官 東良 雅人 先生 | 家庭 | 文部科学省教科調査官 筒井 恭子 先生 |
| 数学 | 文部科学省教科調査官 水谷 尚人 先生 | 保健 体育 | 文部科学省教科調査官 高橋 修一 先生 | 英語 | 文部科学省教科調査官 平木 裕 先生 |
| 理科 | 文部科学省教科調査官 藤枝 秀樹 先生 | | | | |

4 各教科の研究テーマ・公開授業コンセプト・共同研究者 一覧

【1日目 : 20日(金)】

| 教科等 | 各教科の研究テーマ 公開授業 学年 | 提案コンセプトや 授業の見所, 単元・題材など | 担 当 ◇ 授 業 者 | 共同研究者 (横浜国立大学) |
|------|--|--|-------------------------------------|--|
| 国語 | ○生きてはたらくことばの使い手を育てる授業づくり ～見通しと振り返りを重視し, 学びのつながりを自覚させる指導と評価～ 公開授業 3年 公開授業 2年 | ・これまでに身に付けてきた「読むこと」の知識や技能をいかしつつ, 生徒が自らの読書生活をデザインする力を身に付けさせる指導と評価の実践を提案します。 | ◇本間 隆司 ◇千葉 瑠衣 奥田 佳子 高橋 あずみ | 名誉教授 府川源一郎先生 教授 高木まさき先生 |
| 社会 | ○「見通す・振り返る」学習活動を取り入れた授業づくり ～社会的な思考力・判断力・表現力等の育成のために～ 公開授業 1年 | ・社会的な思考力・判断力・表現力等を身に付けるために, 1年生の地理的分野で, 「見通す・振り返る」学習活動と言語活動を取り入れた授業づくりを提案します。公開授業は其中でも「振り返る」場面を予定しています。 | ◇林 達郎 土谷 満 | 教授 西脇 保幸先生 |
| 音楽 | ○音楽科における「見通す・振り返る」学習活動を重視した思考力・判断力・表現力等の育成 公開授業 1年 | ・「見通す・振り返る」学習活動を日本の伝統的な歌唱と創作で行います。国語の学習で学んだ古典の作品を参考に, 箏の様々な奏法による音色の違いに気付かせ, 創作, 表現する授業を提案します。 | ◇岩屋 禎枝 | 教授 中嶋 俊夫先生 |
| 美術 | ○美術科における見通しと振り返りを重視した思考力・判断力・表現力等の育成 ～表現と鑑賞の関連を図る授業を通して～ 公開授業 1年 | ・絵本づくりを通して「表現」と「鑑賞」の関連を図る授業を提案します。公開授業では, 直感的, または論理的に想像したことを他者と話合わせることで, 新たな見方や考え方を共有し言葉や図でこれらを更新してイメージを膨らませていくこと, 及び, その過程の振り返りを繰り返す中で, 新たな見通しをもたせていくことを目指します。 | ◇飯田 哲昭 | 准教授 小池 研二先生 |
| 保健体育 | ○「見通す・振り返る」学習活動を重視して運動に親しむ資質や能力を育てる授業づくり 公開授業 2年 | ・協同学習を通して, バasketボールの機能的特性(突破やシュート)を味わわせるとともに, 日々の活動の中に「見通す・振り返る」学習活動を取り入れ, 課題設定と解決に取り組む授業を提案します。また, それまでの単元の内容を活用し, 学びのつながりを意識した授業についても提案します。 | ◇小川 充 関 さおり | 名誉教授 落合 優先生 (横浜創英大学教授) 准教授 梅澤 秋久先生 |
| ICT | ○「見通す・振り返る」学習活動を促すICT活用の実践 公開授業 3年 | ・タブレットPCやデジタルペンなどの活用を通して考えの瞬時の共有化が容易になり, 見通しと振り返りが促されることで生徒自ら考えを深めていく数学科「C関数」領域の授業を公開します。 | ◇藤原 大樹 鹿島 俊章 | 教授 野中 陽一先生 |

【2日目 : 21日(土)】

| 教科 | 各教科の研究テーマ 公開授業 学年 | 提案コンセプトや 授業の見所, 単元・題材など | 担 当 ◇ 授業者 | 共同研究者 (横浜国立大学) |
|---|--|--|--------------------------|-------------------|
| 数 学 | ○「見通す・振り返る」学習活動を重視した数学的な思考力・表現力を高める指導と評価 公開授業 2年 | ・「B図形」領域の単元「三角形と四角形」において、図形の性質を見だし、見通しをもって証明するとともに、振り返ることで考えを深める授業について提案します。また、その他の領域における数学的な思考力・表現力を高める実践事例についても、「見通す・振り返る」学習活動を視点として提案します。 | ◇大内 広之 藤原 大樹 大矢 周平 | 教授 池田 敏和先生 |
| 理 科 | ○「見通す・振り返る」学習活動を重視した科学的な思考力・表現力の育成 公開授業 2年 | ・学習活動への見通しと振り返りを意図的・計画的に単元及び授業構成に反映させ、目的に向かって生徒の意欲を駆動させ、自律的に学習を進めさせるための指導の工夫を提案します。 ・科学的探究のプロセスに言語活動を導入し、科学的な思考力・表現力を育成する授業事例を紹介します。 | ◇井上 祐介 ◇田中 明夫 | 教授 森本 信也先生 |
| 技 術 分 野 ・ 家 庭 分 野 | ○「見通す・振り返る」学習活動を重視して生活を工夫し創造する能力を育成する授業づくり 技術 公開授業 1年 家庭 公開授業 1年 | ・「A 材料と加工に関する技術」において、作品の製作過程に「見通す・振り返る」学習を位置付け、設計と製作の振り返りを通して、技術を評価し、生活を工夫し創造する能力と実践的な態度の育成を目指します | ◇吉田 和弘 | 准教授 鬼藤 明仁先生 |
| | | ・「C衣生活・住生活と自立」の(3)衣生活, 住生活などの生活の工夫と、「D身近な消費生活と環境」の(2)家庭生活と環境の関連を図った題材において、「見通す・振り返る」学習活動と言語活動を取り入れ、生活を工夫し創造する能力と実践的な態度の育成を目指します。 | ◇菅田 浩美 | 教授 堀内かおる先生 |
| 英 語 | ○「見通す・振り返る」学習活動を通して英語によるコミュニケーション能力の基礎を養う授業づくり 公開授業 2年 | ・「話すこと」に重点を置き、「見通す・振り返る」学習活動を通して「聞き手に正しく伝える」技能を育成する授業の工夫を提案します。 | ◇大貫 謙一 大窪洋次郎 | 教授 満尾 貞行先生 |

5 会場

横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校



6 参加費及び書籍代

一日参加：2,000円 両日参加：2,500円 (当日、受付にてお支払いください。)

※ 両日とも同日程(基調提案も同内容)で、教科等のみ異なります。

※ 全教科等の学習指導案を封入してありますので、一日参加ですべてお持ち帰りいただけます。

7 申込から受付まで

・本校ホームページから事前にお申込みください。

・事前申込は、平成26年12月19日(金)から平成27年2月19日(木)正午までの間にお願いします。

[事前申込の流れ]

□1 下記URLにアクセスしてください。(URLを昨年度のものから変更しました。)

URL <http://yokochu-ynu.com/>

□2 「平成26年度 研究発表会申込フォーム」で必要事項を入力し、お一人様ずつお申込みください。

・次のものを当日にお持ちください。

□1 「平成26年度 研究発表会申込フォーム」のメールの印刷物 → 受付でご提出ください。

(本メールをスマートフォン等の画面でご提示することはご遠慮ください。)

□2 所属機関(学校など)でお使いになっている名札 → 会場でご着用ください。

8 その他

- 受付及び授業会場は例年たいへん混み合います。お早めに受付を済ませることをお勧めいたします。
- 午前の公開授業で撮影した映像・画像等は、研究・研修を目的とした個人的使用に限定してください。
- 午後の分科会における撮影・録音などはご遠慮ください。
- ご不明な点は、[担当] daiki-7@ynu.ac.jp までメールにてご連絡ください。
- 事前申込後のキャンセルは、速やかに yokochu@ynu.ac.jp までメールにてご連絡ください。

[担当] 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校
研究主任 藤原 大樹 (E-mail : daiki-7@ynu.ac.jp)
<http://yokochu-ynu.com/>
〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-3
TEL 045-742-2281 FAX 045-742-2522